

患者の皆様へ

2017年6月1日

薬剤部

現在、薬剤部では、「潰瘍性大腸炎に対するタクロリムス血中濃度コントロール精度向上のための投与量補正プロトコルの構築」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（2010年2月～2016年12月の間に潰瘍性大腸炎の治療のためにタクロリムス内服を入院中に開始された方）の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「潰瘍性大腸炎に対するタクロリムス血中濃度コントロール精度向上のための投与量補正プロトコルの構築」

2. 研究の意義・目的 「潰瘍性大腸炎に対してタクロリムスを開始してなるべく早く目標の血中濃度にするための投与量調節方法を構築します」

3. 研究の方法

電子カルテの診療録から、身長、体重などの身体情報、タクロリムス内服量、血中濃度、血便回数、下痢回数、潰瘍性大腸炎の重症度評価、検査値（ヘモグロビン、ヘマトクリット、肝機能、腎機能）、食事内容などを調査し、タクロリムス血中濃度の変動とそれらの関係を調査します。情報は全て診療録より調査し、あらたに検査が発生することはありません。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院薬剤部の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院薬剤部

薬剤師 高塚博一

043 (222) 7171 内線71795